

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ	単位数	2
学年	2年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	財務会計Ⅰ 新訂版(東京法令出版)				
副教材(出版社)	完全段階式 標準検定簿記問題集1級会計(東京法令出版)				
授業の概要	<p>1 簿記で学んだ知識や技術を基礎として、財務諸表に関する深い知識や高い技術を学習します。</p> <p>2 利害関係者に会計情報を提供・活用する能力と態度を学習します。</p>				
授業の目標	財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解できるようにします。また、会計情報を、活用する能力と態度を身に付けます。				
年間学習計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1学期				
	2学期	<p>第Ⅰ編 財務会計の基礎</p> <p>第1章 企業会計の意義と役割</p> <p>第2章 会計法規と会計基準</p> <p>第3章 株式会社の設立・開業と株式の発行</p> <p>第4章 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分</p> <p>第5章 社債</p> <p>第6章 株式会社の税務</p> <p>第Ⅱ編 貸借対照表</p> <p>第1章 貸借対照表の概要</p> <p>第2章 資産の意味・分類と評価</p> <p>第3章 流動資産</p> <p>第4章 固定資産</p> <p>第5章 繰延資産</p> <p>第6章 負債の意味・分類</p> <p>第7章 純資産の意味・分類</p> <p>第8章 貸借対照表の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と会計、株式会社、会計法規と企業会計制度について取り扱い、会計に関する基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>会社法による、株式、資本金の内容と株式会社設立の記帳法を理解する。</li> <li>資産、負債と資本、貸借対照表の作成について取り扱い、貸借対照表に関する基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>資産の意味、分類、評価について理解し、具体的な例を用いてその処理法を習得する。また、減価償却については、定率法、生産高比例法の特徴及び計算法を扱い、繰延資産については、会社法上の繰延資産を扱う。</li> <li>負債と資本について、それぞれの意味、分類について理解し、具体的な例を用いてその処理法を習得する。</li> <li>資産・負債・資本に関する知識をもとに、区分表示された勘定式と報告式の作成方法を習得する。</li> <li>財産法と損益法に触れ、損益計算の意味と考え方について理解するとともに、発生主義、実現主義などの損益計算に関する知識と技術を習得する。</li> </ul>		
	3学期	<p>第Ⅲ編 損益計算書</p> <p>第1章 損益計算の意味と損益の区分</p> <p>第2章 収益・費用の認識と測定</p> <p>第3章 損益計算書の作成</p> <p>第4章 その他の財務諸表</p> <p>第Ⅳ編 財務諸表の活用</p> <p>第1章 財務諸表の意義</p> <p>第2章 財務諸表の見方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業損益・営業外損益、特別損益の概念を理解し、具体的な例を用いて分類や各項目の処理法を習得する。</li> <li>経常損益と特別損益に関する知識をもとに、報告式の損益計算の作成方法を習得する。</li> <li>財務諸表に関する意味、見方、連結財務諸表について取り扱い、財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>連結財務諸表の目的および連結の範囲、連結財務諸表の表示方法について理解する。</li> </ul>		
観点別評価	<p>関心・意欲・態度</p> <p>企業会計の意味・役割や制度、財務会計の機能、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することなどに興味を持ち、財務会計の学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>思考・判断</p> <p>企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。</p>	<p>技能・表現</p> <p>会計の基礎・基本的な考え方と技術を身に付け、会計情報を提供し、活用する能力を身に付けている。</p>	<p>知識・理解</p> <p>会計の基礎的・基本的な考え方と技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解している。</p>	
備考	4つの観点に基づき、学期に100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し、総合的に評価する。「原価計算」とのまとめ取りにより10月～3月に実施する				